

地域研修実施後、地域研修に係る意見を電話ヒアリングにて実施した。ヒアリングした内容は下記のとおり。

<p>実務担当者</p>	<p><b>■調整</b> 基本カリキュラム内容の調整にあたり困ったこと、改善して欲しいこと／研修実施に向けた調整（助言含む）上で困ったこと、改善して欲しいこと</p> <p><b>■実施</b> カリキュラムの流れや内容に対する感想／人的ネットワーク形成のための取り組みに対する感想／支援体制（支援内容や助言含む）への意見、改善して欲しいこと／各単元の内容や手法に対する意見、改善して欲しいこと</p> <p><b>■その他</b> その他、研修の実施を通じて気付いた事、意見等</p>
<p>実務担当者の上司</p>	<p><b>■応募</b> 応募にあたり悩んだこと、困ったこと／地域研修をどのように活用しようと考えていたか／公募に当たり改善して欲しいこと</p> <p><b>■自立した研修実施の可能性</b> 運営主体として苦勞したこと／本研修と同様の研修を自立して実施できるか／今後も継続的に支援が望まれること（ノウハウ、講師、予算等）</p> <p><b>■人材育成の取組み</b> 防災担当職員の人材育成としてどんな取組みをすべきか／市町村向けにどのような防災研修を行っているか</p> <p><b>■その他</b> 自組織の人材育成の取組み／その他意見・提案等(国への期待等)</p>

## ■調整

### 基本カリキュラム内容の調整にあたり困ったこと、改善して欲しいこと

- 内閣府講師の名前などの情報をもっと早く知りたかった。
- 1日目、2日目それぞれに演習を入れたプログラムを想定していたが、内閣府の災害対応のため、プログラムの順番において一部単元が固定となってしまったため、1日目に演習を行うことができなかった。

### 研修実施に向けた調整(助言含む)上で困ったこと、改善して欲しいこと

- 会場が思ったよりも狭かったため、会場に関するアドバイスがあると良かった。
- 物品関係では特に困らなかった。

## ■実施

### カリキュラムの流れや内容に対する感想

- 座学だけだと受講者が退屈するため、演習は1日目、2日目それぞれにあったほうが良い。

### 人的ネットワーク形成のための取組みに対する感想

- 集合写真撮影、名刺交換の促進アナウンス、懇親会はあって良かった。
- 名刺交換の時間をどこかで取れると良いと思った。
- 懇親会は楽しかったという意見が多かった。

3

## ■実施(続き)

### 支援体制(支援内容や助言含む)への意見、改善して欲しいこと

- 事務局から提供を受けた募集のための各種様式が役に立った。
- 受講証明書に知事の名前を入れる、入れない等の発行のルールを明確にして欲しかった。

### 各単元の内容や手法に対する意見、改善して欲しいこと

- 一般的な内容を内閣府から講義いただいたが、市町村レベルの実務にどう繋がるか分かりにくかったのではないかな。
- 各講義で説明した内容が各市町村で出来ているかセルフチェックする時間を設けるのも良いのではないかな。
- 気象台の方が講義される「地域の災害特性」は、天気図の見方などのもっと担当者レベルの話があっても良いと思った。

## ■その他

### その他、研修の実施を通じて気付いた事、意見等

- 有明の丘に準じた内容のプログラムだったが、受講した方でも経験の浅い方もいればベテランの方もいた。
- プログラムは初任者向けの内容だったが、もう少し踏み込んだ内容の講義を地域で開催した方が良いのではないかな。

4

## ■ 応募

応募にあたり悩んだこと、困ったこと

- 公募タイミングの都合上、実施時期を決めるのが難しかった。

地域研修をどのように活用しようと考えていたか

- 市町村職員の防災力向上を取組みたかった。
- 防災会議のメンバーにも声をかけて、県以外の関係機関も含めて防災力を向上したかった。

公募にあたり改善して欲しいこと

- 基礎的な研修であれば、早い時期に研修を実施したい。
- 来年度の希望を今年度中に取りといたことはできないか。
- 2年連続も可能なのか、可能な場合はどういったことを内閣府にやっていただけるか事前に教えて欲しい。

## ■ 自立した研修実施の可能性

運営主体として苦労したこと

- どこまで、どういった研修になるかが公募要綱では不透明だった。

本研修と同様の研修を自立して実施できるか

- 今年度のような基礎的な研修であれば、県で自立して企画運営は可能だと考える。
- 今年実施したことが参考になった。

5

## ■ 自立した研修実施の可能性(続き)

今後も継続的に支援が求められること

- 主だった内容については、内閣府の講師派遣も不要で実施できると考える。
- そのため、最新の知見をいれた研修資料等(昨年度から変更となった箇所の分かるようなもの)の提供があると嬉しい。  
(例えば、警戒レベルについては5月時点では県で説明することは難しかった)

## ■ 人材育成の取組み

防災担当職員の人材育成としてどんな取組みをすべきか

- 内閣府の研修に人材を送り込む等の人材育成が必要
- 熊本県は被災経験もあることから、経験・教訓を伝えるような取組が必要

市町村向けにどのような防災研修を行っているか

- 市町村向けの研修は実施していなかった。
- 来年度以降、今年度やったような基礎的な内容の研修は自前でやっていきたい。
- 内閣府には、中級者向けの研修を地域で実施できるような支援をしていただけると嬉しい。

6

## ■その他

### 自組織の人材育成の取組み

- 内閣府の研修にまとまった人数(10人ほど)を送り込んでいる。来年以降も3年間は継続したい。
- 県独自の研修では、熊本地震の経験・教訓を伝える研修(仮設住宅、避難者支援、物資対応等の業務別に10項目)の研修を実施している。3年間で2回ずつ(計20回)の研修をやっていこうとしている。
- 災害時に派遣されるリエゾンの研修を今年度から実施している。

### その他意見・提案等

- 座学だけでなく、演習などで参加者同士の交流ができるような研修にして欲しい。
- 個人の能力が上がったも大事だが、自分の町のことになるんだ!ということを意識付けできるような仕組みが必要ではないか。